

| | |
|------|--|
| 項目 | 概要 |
| 日時 | 2022年2月16日(水) 9:00~10:30 |
| 場所 | Web会議によるオンライン開催(Webex) |
| 議事次第 | (1)開会 中尾彰宏 国際委員会委員長ご挨拶 (2)白書分科会と国際委員会の今後の連携について (3)技術分科会への貢献・お取り組みについてのご発表(NTTドコモ) (4)技術分科会スケーラビリティWGからのアウトプット例の提示 (5)諸外国調査報告 (6)MWC出展に関して (7)今後の会合開催日程、お知らせ (8)閉会 中尾彰宏 国際委員会委員長ご挨拶 |
| 参加者数 | 約140名 |

以下、議事要旨。

(1)開会 中尾彰宏 国際委員会委員長ご挨拶

- 皆様おはようございます。国際委員会を開催いたします。朝早いお時間からお集まりいただきまして誠にありがとうございます。本日は事務局からもご案内ありましたようにたくさんの興味深い発表が予定されております。本日は国際委員会としましては、企画・戦略委員会傘下の白書分科会と国際動向の把握というところで連携が必要ではないかということで、本日お話を頂きます。また定期的なランドスケープの把握が必要になってきています。本日の発表にもありますが、諸外国でのBeyond 5Gについて具体的な内容が出てきておりますので、是非皆様にも把握を頂いて、今後の我が国の進むべき道を考えて頂ければと思います。技術分科会については、皆様にオープンにご参加頂くことを考えております。ただし、分科会の活動内容や期待されているアウトプットについて、スケーラビリティWGからアウトプットイメージをご紹介することで、理解を深めるというプログラムになっています。それでは実際のプログラムに入っていきたいと思えます。本日はどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

(2)白書分科会と国際委員会の今後の連携について発表が行われた。

(3)技術分科会への貢献・お取り組みについてのご発表(NTTドコモ)について発表が行われた。

(4)技術分科会スケーラビリティWGからのアウトプット例の提示について発表が行われた。

(5)諸外国調査報告について発表が行われた。

- 以下の質疑応答が行われた。

- 今回はこの国々にフォーカスされたということなのではございますけれども、他に、今後、例えば他国の動きが加速しているというところで、今後見ていかないといけないと考えていらっしゃる領域と言うか、地域と言うか、もしあれば言っていて頂いて、また、国際委員会でも、その地域の調査を加速したいと思っておりますが、いかがでしょうか。(NTTドコモ 中村様)
- そうですね。やはり今回ヨーロッパにて、フラグシッププロジェクトが進んでいるということ。更にEUでは先程、その枠組みでいろいろな研究開発がその後起きていると話しましたが、今日現在既に35件くらいプロジェクトが走っております。2月時点ですね。そういうこともありますし。それから、やはり米国、これもごく最近ですけど、Next G Allianceがロードマップを発表致しました。2月の何日でしたか、と言うことで、アメリカも相当足並みが揃って、具体的な動きが出てきていると言うことですね。ですからヨーロッパ、アメリカ。これはもう絶対外せない。ウォッチしておく対象だと思います。もう一つあって、やはり何と言っても中国。中国は情報の出方が今一つなのですが、いろいろなニュースを拾っていきますと、例えば宇宙統合とか、そういったニュース等も結構出ていますので、中国も外せない。あと、台湾というものは、半導体という世界で言うと、ずっとフォローしていく必要がある国だと思っております。こんなところなのですが。(古賀総研 田中様)
- ありがとうございます。またちょっと、力の入れ方とか、新しい地域の調査。そこを少し委員会のメンバーと議論させていただいて、引き続き、先程申し上げましたように、時系列でウォッチしていければ良いと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。(NTTドコモ 中村様)

(6)MWC 出展に関して発表が行われた。

(7)今後の会合開催日程、お知らせについて発表が行われた。

(8)閉会 中尾彰宏 国際委員会委員長ご挨拶

- 時間も押しておりますので、簡単に申し上げますが、本日は非常にたくさんの報告事項がございましたけれども、いずれも大変重要であったと思います。冒頭の白書分科会からの中村主査、小西リーダー、中村リーダーからのご紹介にもございましたけれども、我が国のビジョンは今後も更新されていくとのことで、国際委員会からも発信させて頂ければと考えております。技術分科会に関しましては、2点重要な点がございます。まずグローバルなランドスケープの把握という

ことで、グローバルにどのような 6G 開発状況にあるのかをきちんと把握しなくてはならないということ、もう一つは我が国の保有技術についてきちんと発信をして、連携戦略を考えていかなければならないと考えております。本日は NTT ドコモ様やソフトバンク様からのご説明がありましたが、個社のギラつきというところも大事にしながら、各社の保有技術のインプットをお願いできればと考えております。最終的には、海外からワンストップで情報を得られるようにしていきたいと考えておりますので、是非よろしく申し上げます。引き続き国際委員会では WG の活動や情報共有の活動を進めていきたいと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。海外企業の皆様にも、オープンに技術分科会にご参加頂きたいと考えておりますので、どうぞよろしくようお願い申し上げます。

以上